



絆 きずな



令和 7 年 12 月 8 日発行

生徒の皆さん、11月6日(木)の人権統一 LHR はいかがでしたか? 各クラスで様々な題材に取り組み、他者との関係性や関わり方を考える良い機会になったのではないのでしょうか。

今月は授業後に寄せられた振り返りをいくつかみなさんにご紹介します。人権について共に真剣に考えることができる仲間がいると感じられることは、大変喜ばしいことです。



人権 LHR の感想

—令和流の喧嘩の仕方考えた人々—

喧嘩という言葉からは、暴力だとか、血で血を洗う野蛮なイメージが湧いてくるけど、喧嘩の形や在り方は、時代が流れていく中で、明朗で直接的なものから、間接的で陰湿なものに変わりつつあると思う。そのため、言葉での争いになることが多いと考えられるから、相手の立場に立ちつつ、自分の意見を下手に曲げずにいるという姿勢が大切だと考える。

自分は喧嘩をした後にお互いがスッキリとするような喧嘩が理想だと思った。「あの子がなんか嫌だった」という理由などで長い間距離を取り、気づいたら話すことすら無くなっていたみたいな喧嘩はどこかモヤモヤが残る気もするし勿体無いと思う。だから僕は互いが対等な立場で不満などを言え、お互いに対話という方法で喧嘩をすることでその後に前と変わらずに普通に話ができるような関係を保ちたい。喧嘩とは対話が僕の令和流喧嘩道だ。

喧嘩をするということは、他人に興味を持っているということだという考え方に納得しました。

今回の授業は、喧嘩の仕方を考えようという企画でしたが、そもそも喧嘩をしないという選択肢はないのかと思いました。一応、令和流の喧嘩の仕方をちゃんと考えると、陰口、又は、リンチにならないように対面で会話を試みるということが大切だと思いました。が、やはり喧嘩には発展させないことが一番だと思います。今回使われた二つのシチュエーションでは、B子がC美を妬んだ誹謗中傷や、太った子がデブと言われるのが嫌でそれを伝えたら無視された、など狭すぎる人間関係や心の器などが原因であると考えられます。喧嘩をしないように、関わる人を選ぶ、関わりたいと思った人と関われるようになる力を付けるということこそ大切だと思いました。

裏面につづく… ➡

スクールカウンセラーについて

みなさんの悩みを相談できる機会を設けています。

※予約制です。担任または相談室に気軽に声をかけてください。

【今後の予定】

1月 20日(火) 16:20~18:20

2月 17日(火) 16:20~18:20

人権 LHR の感想

—受験期の教室環境を考えた人々—

人権についての学習で、「どんな言葉や行動が人を傷つけるのか」「どんな言葉がうれしいのか」をみんなで考えました。意見を出し合う中で、何気ないひとことでも相手の気持ちを大きく変えてしまうことがあると気づきました。これからは「言葉の力」を大切に、相手を思いやる気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思います。

今受験が終わった人とまだまだこれからの人として、休み時間の過ごし方とかの違いで不満に思っている人がいっぱいいるんだなと思った。まだ登校期間のうちはみんなで協力し合っている雰囲気を作れるといいと思う。

授業で寝てしまう時があったので、他の人の害にならないように、寝ないようにしたい。

自分がよければそれでいいという考え方ではなく、誰か一人でも嫌な気持ちにならないかをよく考えて行動することが大切だと感じた。どんな行動も、自分は大丈夫と思うのではなく、これで誰かに迷惑がかかっているかもと考えながら過ごしていきたい。

人権問題っていうと少し自分とは遠い壮大なものを想像してしまうけど身近な問題。受験勉強をクラスみんなで雰囲気をつくって頑張りたい。

同じ合格報告でも、それがモチベーションになる人もいれば、不快と思う人もいることがわかりました。これからは周りの人のことを考えて、授業や休み時間の過ごし方を改めたいと思いました。

みんなしんどいけど頑張っているから、自分ももっと頑張ろうと思った。

人権 LHR の感想



—その他、多様な題材で考えた人々—

メキシコとアメリカの国境の壁で離れ離れになってしまった家族が、わずか3分間だけ再会するという動画を見て、胸が締めつけられるような気持ちになりました。自分が同じ立場になったらどう感じるのか想像することすらできません。私たちにとって3分なんてあっという間の時間ですが、その方々にとっては、何年も待ち続けた末にようやく手に入れた、かけがえのない3分なのだと気づかされました。また、動画の中で、3分が終わったあとに涙を流しながら名残惜しそうに別れる家族の姿が、一番心に残りました。そして、当たり前のように家族と笑い合える日々が、どれほど幸せなことなのかを改めて実感しました。これからは、家族との時間をもっと大切に、後悔のないように毎日を過ごしていきたいと思います。

世界にある様々な個性をなくして公平にした場合、優劣がなくなるなどのメリットもあるけど、人それぞれの個性がなくなるのはやはり良くないなと思いました。どうしても自分視点だと劣る部分がよく見えるけど、公平なもしもの世界を考えてみて、自分の短所も愛すべき個性だなと考えることができてよかったです。

私はまだ、LGBTQにあたる人たちに会ったことがなくて、だからこそそういった人たちに対して自分とはどこか違うという認識を持っていた。でも、今回の LHR を通して、自分と違うと区別することは間違いで、性に関して自分と違う認識を持つ人もいると理解しその人自身を認める行動をすることが重要だと思った。

身近なところにも、たくさん人権の問題は潜んでいます。

日頃から他者と対等な関係を築き、自分も他者も大切にできる環境を作っていきたいですね。